

平成31年第1回平群町議会

定例会会議録（第2号）

招 集 年 月 日	平成31年3月4日	
招 集 の 場 所	平群町議会議場	
開 会 （ 開 議 ）	3月4日午前9時0分宣告（第2日）	
出 席 議 員	1 番 山 本 隆 史 3 番 井 戸 太 郎 5 番 稲 月 敏 子 7 番 山 口 昌 亮 1 1 番 下 中 一 郎	2 番 城 内 敏 之 4 番 森 田 勝 6 番 植 田 い ず み 1 0 番 窪 和 子 1 2 番 馬 本 隆 夫
欠 席 議 員	9 番 高 幣 幸 生	
地方自治法第121条 第1項の規定により 説明のため出席 した者の職氏名	町 長 教 育 長 会 計 管 理 者 政 策 推 進 課 長 総 務 防 災 課 長 税 務 課 長 住 民 生 活 課 長 健 康 保 険 課 長 福 祉 課 長 観 光 産 業 課 長 都 市 建 設 課 長 教 育 委 員 会 総 務 課 長 上 下 水 道 課 長 住 民 生 活 課 参 事 都 市 建 設 課 参 事 教 育 委 員 会 総 務 課 参 事	西 脇 洋 貴 岡 弘 明 橋 本 雅 至 大 浦 孝 夫 瓜 生 浩 章 山 口 繁 雄 中 村 九 啓 辰 巳 育 弘 今 田 良 弘 西 岡 勝 三 寺 口 嘉 彦 松 村 嘉 容 島 野 千 洋 北 樋 口 政 弘 大 辻 孝 司 巳 波 規 秀
本 会 議 に 職 務 の た め 出 席 し た 者 の 職 氏 名	議 会 事 務 局 長 主 幹 書 記	上 田 昌 弘 高 橋 恭 世 和 田 里 絵
町 長 提 出 議 案 の 題 目	第1号に同じ	
議 事 日 程	議長は、議事日程を別紙のとおり報告した。	

平成 3 1 年 第 1 回 (3 月)

平群町議会定例会議事日程 (第 2 号)

平成 3 1 年 3 月 4 日 (月)

午前 9 時開議

- | | | |
|---------|-----------|---------------------------------------|
| 日程第 1 | 議案第 1 6 号 | 平成 3 1 年度平群町一般会計予算について |
| 日程第 2 | 議案第 1 7 号 | 平成 3 1 年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計
予算について |
| 日程第 3 | 議案第 1 8 号 | 平成 3 1 年度平群町国民健康保険特別会計予算につい
て |
| 日程第 4 | 議案第 1 9 号 | 平成 3 1 年度平群町水道事業会計予算について |
| 日程第 5 | 議案第 2 0 号 | 平成 3 1 年度平群町下水道事業会計予算について |
| 日程第 6 | 議案第 2 1 号 | 平成 3 1 年度平群町農業集落排水事業特別会計予算に
ついて |
| 日程第 7 | 議案第 2 2 号 | 平成 3 1 年度平群町学校給食費特別会計予算について |
| 日程第 8 | 議案第 2 3 号 | 平成 3 1 年度平群町介護保険特別会計予算について |
| 日程第 9 | 議案第 2 4 号 | 平成 3 1 年度平群町奨学資金貸付事業特別会計予算に
ついて |
| 日程第 1 0 | 議案第 2 5 号 | 平成 3 1 年度平群町後期高齢者医療特別会計予算につ
いて |
| 日程第 1 1 | 議案第 2 6 号 | 平成 3 1 年度平群町用地先行取得事業特別会計予算に
ついて |

再 開 (午前 9時00分)

○議 長

皆さん、おはようございます。

議席番号9番の高幣議員より、病気のため、本日から3月18日までの本定例会を欠席する旨の届けを受けておりますので、御報告いたします。

ただいまの出席議員は10名で定足数に達しておりますので、これより平成31年平群町議会第1回定例会を再開します。

これより本日の会議を開きます。

(ブー)

○議 長

本日の議事日程は、お手元に配付しております議事日程表のとおりです。日程表に従い議事を進めてまいります。

- | | | |
|-------|--------|--------------------------------|
| 日程第1 | 議案第16号 | 平成31年度平群町一般会計予算について |
| 日程第2 | 議案第17号 | 平成31年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について |
| 日程第3 | 議案第18号 | 平成31年度平群町国民健康保険特別会計予算について |
| 日程第4 | 議案第19号 | 平成31年度平群町水道事業会計予算について |
| 日程第5 | 議案第20号 | 平成31年度平群町下水道事業会計予算について |
| 日程第6 | 議案第21号 | 平成31年度平群町農業集落排水事業特別会計予算について |
| 日程第7 | 議案第22号 | 平成31年度平群町学校給食費特別会計予算について |
| 日程第8 | 議案第23号 | 平成31年度平群町介護保険特別会計予算について |
| 日程第9 | 議案第24号 | 平成31年度平群町奨学資金貸付事業特別会計予算について |
| 日程第10 | 議案第25号 | 平成31年度平群町後期高齢者医療特別会計予算について |
| 日程第11 | 議案第26号 | 平成31年度平群町用地先行取得事業特別会計予算について |

以上11件を、会議規則第37条の規定により一括議題とします。

初日に町長より平成31年度の予算説明を受けておりますので、議案の朗読

を省略し、提案者の提案理由の説明を求めます。

議案第16号 平成31年度平群町一般会計予算についての提案理由の説明を求めます。政策推進課長。

課長、着席して説明いただけますか。

○政策推進課長

そうでしたら、御配慮賜りまして、ありがとうございます。着席の上、説明申し上げます。

議案第16号 提案理由説明

○議 長

それでは、10時30分まで休憩いたします。

(ブー)

休 憩 (午前10時17分)

再 開 (午前10時30分)

○議 長

休憩前に引き続き再開いたします。

(ブー)

○議 長

議案第17号 平成31年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算についての提案理由の説明を求めます。税務課長。

○税務課長

議案第17号 提案理由説明

○議 長

続きまして、議案第18号 平成31年度平群町国民健康保険特別会計予算についての提案理由の説明を求めます。健康保険課長。

○健康保険課長

議案第18号 提案理由説明

○議 長

続きまして、議案第19号 平成31年度平群町水道事業会計予算についての提案理由の説明を求めます。上下水道課長。

○上下水道課長

議案第19号 提案理由説明

○議 長

続きまして、議案第20号 平成31年度平群町下水道事業会計予算につい

ての提案理由の説明を求めます。上下水道課長。

○上下水道課長

議案第20号 提案理由説明

○議長

続きまして、議案第21号 平成31年度平群町農業集落排水事業特別会計予算についての提案理由の説明を求めます。上下水道課長。

○上下水道課長

議案第21号 提案理由説明

○議長

続きまして、議案第22号 平成31年度平群町学校給食費特別会計予算についての提案理由の説明を求めます。教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

議案第22号 提案理由説明

○議長

続きまして、議案第23号 平成31年度平群町介護保険特別会計予算についての提案理由の説明を求めます。福祉課長。

○福祉課長

議案第23号 提案理由説明

○議長

続きまして、議案第24号 平成31年度平群町奨学資金貸付事業特別会計予算についての提案理由の説明を求めます。教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

議案第24号 提案理由説明

○議長

続きまして、議案第25号 平成31年度平群町後期高齢者医療特別会計予算についての提案理由の説明を求めます。健康保険課長。

○健康保険課長

議案第25号 提案理由説明

○議長

続きまして、議案第26号 平成31年度平群町用地先行取得事業特別会計予算についての提案理由の説明を求めます。政策推進課長。

○政策推進課長

議案第26号 提案理由説明

○議長

それでは、午後1時まで休憩いたします。

(ブー)

休 憩 (午前 11 時 46 分)

○議 長

再開前に、都市建設課長より発言を求められていますので、これを許可します。都市建設課長。

○都市建設課長

貴重な時間をいただき、ありがとうございます。

本議会の初日の一般会計補正予算の審議の中で、道路新設改良費の財源内訳の変更に伴う質疑の中で、山口議員より資料請求がありましたので、そちらの資料をお手元に配付させていただいております。

内容につきましては、今年の3月議会の予算審査の提出資料に、右端に1列設けまして、事業の実施内容について記載しております。

以上、説明とさせていただきます。ありがとうございました。

再 開 (午後 1 時 00 分)

○議 長

休憩前に引き続き再開いたします。

(ブー)

○議 長

各議案の質疑については、最初に平成31年度予算全体に対する質疑を行います。一般会計については歳出全体の質疑を行い、その後、歳出の各款ごとに行い、続いて歳入全体について行います。各特別会計、各事業会計については、各会計ごとに質疑を行います。

これより平成31年度予算全体についての質疑に入ります。山口君。

○7 番

まず、新年度予算の審議なんですけれども、今年度のまず実質単年度収支について、2月の全員協議会での説明では、町が提出したシミュレーションによると、今年度については1億1,400万円の实質単年度収支赤字と、それから、そのことによってですね、当然基金も含めた剰余金といいますか、一般会計として残る金は2億円程度ということになるわけなんですけれども、まず、それでよいのかどうか。

それからですね、今年度、先ほど説明もありましたけれども、未確定財源が5億5,000万、プラス町有地売却、売れば未確定ではありませんが5,

000万、それに財調基金の取り崩しが2,000万ということで、6億2,000万が、ある意味、今年度、予算上では単年度実質収支の赤字ということになるわけですが、それとですね、2月5日に、シミュレーションではですね、新年度、平成31年度については3億7,700万円の実質単年度収支が赤字になるという説明でした。これとの関係でですね、当然予算との差額でいうと2億5,000万ほどあるわけですがけれども、今の流れで、その後、大きく変わってはないと思いますが、それでよろしいですか。その点だけ。

○議長

政策推進課長。

○政策推進課長

それでは、山口議員の御質問にお答えをさせていただきます。

まず1点目、今年度の予算の中でどんだけ、30年度決算を見越した上で、来年度、いわゆる31年度、今回御審議を賜る予算の中での、俗に言う、キャッシュがあるのかという1点目の御質問でございます。議員のほうから2億というふうなことでおっしゃっていただきました。基本的にはシミュレーションにおきましても、まず財政調整基金が今年度末、30年度末、約1億円程度、ほんで、今年度、30年度の予算におきましても約1億円程度積む予定にしておりますので、あくまでこれはシミュレーションということでお含みおきいただきたいんですけど、それで、俗に言う、よくおっしゃられるキャッシュという部分では、約2億円程度の費用が出るのかなというのは、そこは財政当局としてもそういうふうな同じ考え方をまず持っております。

続きまして、未確定財源の部分でございます。今年度におきましては、予算の説明の中で、土地売払分含めまして、6億190万程度の未確定財源を組んでおります。おっしゃられました基金の取り崩し、崩せば、約6億2,000万程度のいわゆる現金、キャッシュがない状態やということでございます。その部分につきましては、今の予算のフレームの中では、そういった試算で間違いはないのかなというふうに思っております。

次に、31年度の赤字の見込みでございます。2月の5日に全員協議会でお示しをさせていただきました財政シミュレーション、31年度の実質収支につきましては3億7,700万円の赤字というふうになってございます。まだ30年度決算等も締まっておらないような状況で、あくまでもシミュレーションということでございますが、現時点で、2月の5日に御提案させていただいた、御説明申し上げたシミュレーションと大きな変更はございませんので、今の時点でのシミュレーションでの実質単年度収支の赤字という部分では、その金額というふうに財政課としても把握しております。

以上です。

○議 長

山口君。

○7 番

それであればですね、今後ちょっと動きはあるかも知れませんが、そうであれば、不用額が出たとしても、新年度、相当な赤字が出ると、そうなれば、当然来年3月31日の決算を打てばですね、全て財調を投入しても赤字ということも非常に考えられるわけですよ。そこで、この間、当局から説明あったように、今回計上してる駅周事業への町の補助金2億円、これが全部一般財源になってますから、それを事業化して、国や県の補助金はないでしょうけども、起債で対応したいというような話もされてました。そういう見込みはあるのかどうか。それ、できなければ、もう完全に赤字になる可能性というのは非常に高まるわけですね。その点、どのように見ておられるのか。

○議 長

政策推進課長。

○政策推進課長

それでは、御質問にお答えをさせていただきます。

まず、平成31年度の予算の赤字見込みという部分でございます。非常に厳しい予算編成、6億円を超えるような未確定財源というのは、ここ数年、そういった措置がないということも踏まえまして、かなり厳しい決算になるのかなというふうな見込みはまず持っております。実質的には、今年度の予算の中で、先ほどおっしゃられた2億円の駅周組合、いわゆる区画整理組合に対しての補助金ということで計上させていただいております。財源的には一般財源ということでございます。この間、2月5日の全員協議会でも御説明といたしますか、ある意味、財政課としての意気込みという部分になりますが、この部分につきましては、できる限り努力をいたしました上で、補助金というのはなかなか難しい、ちょっと不可能やと思いますので、財源手当という部分で、地方債を何がしか充当できるということで、当然今年度、年度かわりましたら、いろんな関係課との調整も踏まえてやっていくところでございます。

仮にですけれども、これがうまいこと起債が起こせれたという話になりましたら、財政見通し、少しは変わるかなと思っておりますが、ただ、なかなかこれ、事業、それ自身、もう少し精査をした中で、適債性があるような事業なのかどうかということ把握した中での対応になりますので、今、この時点で、起債が全て充当できるということはちょっと申し上げにくいというのが現状でございます。逆に、それがなければ、非常に財政担当課として申し上げるのは心苦

しいですけども、31年度の決算につきましては、赤字になるようなおそれが非常に高いということは、あわせて申し上げておきたいと存じます。

○議 長

山口君。

○7 番

おっしゃるとおりだと思う。起債対応できなければ、赤字団体になる可能性が非常に高いというのは事実ですし、それをやらないために、さまざまな努力をされるんだと思うんですけどもね。ただ、新年度、それでいっても、その後もずっと続くわけですよ。ですから、その辺についてはね、この間も申し上げてるように、早い時期に町として基本的な対策を打ち出してですね、議会にも説明していただきたい。もちろん、以前から言ってますように、特効薬っていうのはないわけですから、本当に地道にやるしかないとは思いますが、その辺は、今言って、答えも出ませんし、私のほうも、こうすればいいという特効薬はありませんから、何とも申し上げられませんが、町としても、いろんな自治体の状況も調べたり、検討したり、さまざまなことも考えていただいて、やっていただきたい、このことはお願いしておきます。

○議 長

ほかにございませんか。下中君。

○11番

ちょっと西脇町長にお尋ねいたしますけども、厳しい予算編成ということで、5億5,000万円の未確定財源を含んでるということですが、町長が就任されて、いろいろと言われておりますけれども、つなぐ、また、さらなる発展ということで、一生懸命町政邁進しておられますけれども、今回の予算編成においてね、いわゆる現行の行政サービスが低下しないということで言われてると思いますけれども、新たな負担を求めないということで編成されたと思いますが、その辺の強い意気込みで編成されたのかどうか、お聞きしたいと思います。

○議 長

町長。

○町 長

今、下中議員、質問がありましたように、予算編成としては、今回、普通建設事業では、文化センターと図書館建設を初め、あと道路橋梁の長寿命化とか、あと、今問題になりました駅周辺事業の補助金を一応計上しております。社会保障関係費では、高校3年生までの医療費の無料化を引き続き実施しております。あと、今後、公債費、人件費、扶助費等についても経常経費の計上とはなっておりますが、また、歳入でも少子・高齢化、人口減少で、住民税もかなり

落ち込んでおります。このことから、できるだけ住民に負担を求めないように、内部努力で財政健全化に向けて努力してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

○議 長

山口君。

○7 番

全般ということなんで、一つは消費税10%、10月からということになっておりますが、このことについてですね、町財政への影響、普通会計でも一般会計でも結構ですけれども、影響ですね。

それから、これも全体になるのかな。幼児保育無償化、きょうも説明の中で何度か出てきましたけれども、これについてもね、財政への影響ということで、歳入、歳出、これにかかわる資料を出していただきたい。

それとですね、地方消費税交付金の増額分、全て、これは8%になったときからそうなってると思いますけれども、全て社会保障にということなんですけれどもね。10%になったら、半年分ですから、なればですよ。なれば、半年分ですから、それも勘案して、今年度、2,500万円歳入ではふえてますけれども、これ、ふえた分が幾らで、全て社会保障にという明細になってますから、どこに、どの社会保障部分に使われてるのか出していただければと、その点、その資料をお願いします。

○議 長

政策推進課長。

○政策推進課長

資料請求でございます。

まず、1点目の消費税が本年10月から引き上げられるということでございます。その部分での影響額ということで、町の経常経費等も消費税対象になる事案もございますので、入った分と、いわゆる町が賦課されて払う分という部分での、非常にちょっとざっくりした試算になると思いますねけれども、一応資料としてお出しはさせていただきます。

2点目の幼児教育の無償化の部分でございます。その財源手当につきましては、国のほうは2%の消費税増額分で賄うというのが大原則、また、その中で、国のほうからも、今年度の予算については特例交付金等いただいておりますので、ちょっとその部分につきましては、財政課だけではいかない部分もありますので、ちょっと関係課と調整とりながら、何か説明できる資料につきまして、提出をさせていただきたいと存じます。

3点目の消費税の使途の明文化っていうところでございますが、毎年、消費税が5%から8%に上がった年度からかなと思うんですけども、一応提案書の中で、ページで申し上げましたら15ページなんですけども、消費税の使用使途ということで、今年度、消費税の予算額2億7,500万で、いわゆる5から8、8から10に上がった引き上げ分ということで、1億3,000万ということで試算をしております。おのおの、少し当て込み的なところはございますけども、消費税、それぞれ幾ら充当してるのかということで、一覧表をつけさせていただいておりますが、それで、もし、もう少し詳細なものをということですけど……。

「15ページ」の声あり

○政策推進課長

でございます。15ページです。よろしいでしょうか。

○議長

山口君。

○7番

ここにあんねん。わかりました。これは結構です。

そしたら、もう1点だけ。民地の土地借上料と土地貸付収入、これ、いつも出してもらってるやつですけど、その内訳表をお願いします。

○議長

政策推進課長。

○政策推進課長

資料請求のほう、お答えさせていただきます。

今ございました民地の借上料、並びに町有財産の貸し付けに伴います詳細ということで、これにつきましても、資料としてお出しさせていただきます。

○議長

窪君。

○10番

今の幼児教育無償化に係る資料の請求ありましたが、それに追加で、今わかる範囲で、今回無償化になりますこども園、また私立幼稚園、また認可保育所もですけれども、認可保育所は多分わからないと思いますけれども、対象人数を教育委員会と連携してお出し願いたいんですが、大丈夫でしょうか。

○議長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

幼児教育の無償化の対象人数でございますね。ゆめさと、はなさと、両こども園のゼロ歳から2歳児の非課税世帯、そして3歳、4歳、5歳児の数、そして私立幼稚園、私立幼稚園はどこまで把握できるかわかりませんが、努力させていただきますので、資料として出させていただきます。

○議 長

植田君。

○6 番

資料としてお願いいたします。昨年度も出してもらってますが、所属別の職員数の正規、それから臨職。

○議 長

歳出全般の。

○6 番

去年は全般の部分で、全般の部分の資料請求として、資料2で載ってる部分だと思うんですけども、出していただけますか。

○議 長

総務防災課長。

○総務防災課長

ただいま資料請求ありました所属別職員数の正職と臨職、昨年と同じような様式で出させていただきます。

○議 長

植田君。

○6 番

それとあわせて、去年も出してもらった年齢別の職員構成の部分も含めてお願いいたします。

○議 長

総務防災課長。

○総務防災課長

年齢別の職員構成もあわせて出させていただきます。

○議 長

ほかにございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、平成31年度予算全体についての質疑を終わります。
続きまして、議案第16号 平成31年度平群町一般会計予算についての質疑に入ります。

まず、歳出全体に対する質疑がありましたらお願いいたします。ございませんか。

「なし」の声あり

○議長

ないようでしたら、歳出全体に対する質疑を終わります。
続きまして、一般会計歳出の各款ごとに審議に入りたいと思います。
議会費についての質疑に入ります。42ページから43ページまでです。ございませんか。

「なし」の声あり

○議長

ないようでしたら、議会費に対する質疑を終わります。
続きまして、総務費に対する質疑に入ります。43ページから61ページまでです。窪君。

○10番

何点かありますけれども、お願いしたいと思います。
48ページの集会所等施設整備補助金、先ほど4カ所というお話でしたが、内容一覧の資料請求をいたしたいと思います。
また、50ページ、定住促進奨励交付金の実績見込みもお示しを、いつものように詳しい説明の資料をお願いしたいと思います。
そして、51ページの町防犯カメラの設置状況と、そして、31年度の予定がわかる資料をお願いしたいと思います。
そして、防災諸費で平成31年度の防災備蓄品購入予定一覧をお願いしたいと思います。
そして、55ページで、ペイジー・コンビニ収納導入後の状況ですね、5年間ぐらいの状況をお示しいただきたいと思います。
それから、もう1点、ちょっと上に上がりまして、ふるさと納税の納付別実績と、そして、ふるさと納税の返礼品の実績もお願いしたいと思います。
6件の資料請求をお願いします。

○議 長

政策推進課長。

○政策推進課長

ただいま議員のほうからございました資料請求の件でございます。

まず、財産管理費の中で、今年度上げております集会所の補助金の、ちょっと詳細はまた書面で取りまとめて、資料としてお出しさせていただきます。

定住化の関係でございますが、これにつきましても、実績等を取りまとめた資料を御用意させていただいて、御提出のほう、させていただきます。

3点目のふるさと納税でございますが、実績別と、あと返礼品、どのような返礼品が一番、俗な言い方ですけども、人気があったのかということも踏まえまして、返礼品の実績状況も踏まえた資料を御提出のほう、させていただきます。

政策推進課は以上やったと記憶しております。

○議 長

税務課長。

○税務課長

ただいま請求のありましたペイジー・コンビニ収納の導入後の状況について、提出させていただきます。

○議 長

住民生活課長。

○住民生活課長

51ページ、9の防犯対策費、防犯カメラの設置状況と31年度の計画について、資料を提出させていただきます。

○議 長

総務防災課長。

○総務防災課長

同じく51ページの防災諸費の平成31年度の防災備蓄品購入予定の分について、資料を提出させていただきます。

○議 長

植田君。

○6 番

50ページの補助金のところで、ふるさと応援交付金、これ、コミュニティー型ということで、去年より半額ぐらいに、予算からすれば、半分になってるんですけども、なぜこういう状況になったのかということと、それから、応援交付金自体、どういうものがあって、去年の実績ですね、どういう状況なの

かっていうの、1点。

それと、52ページの防災諸費のところの委託料で、事業・業務委託料ということで、これはハザードマップであったり、地域防災計画の修正ということで、予算として990万上がってるんですけども、この中でですね、これまでもちょっと言ってきたんですが、指定避難所とか緊急避難所がね、平群町、まだ旧南保育園とか、それから、今後の問題でいけば、人権交流センターなんかもね、その対象になると、そこら辺も含めて、このときに見直しをして、きちっと新たな、言うたら、指定避難場所っていうのを指定していかれるのか、そこら辺のどこ、御説明いただけますか。

○議長

政策推進課長。

○政策推進課長

それでは、植田議員の御質問でございます。

1点目のふるさと応援交付金でございます。今年度の予算額といたしまして、99万円となっております。前年度200万の予算でございましたので、101万円の減額となっております。

減額になった理由ということでございますが、基本的にこの交付金につきましては、前年度のふるさと納税で、それぞれのコミュニティー事業、例えば椿井城址の整備であったりとかボランティアガイド、また信貴山城の保全活用、時代祭り、また竜田川のまほろば遊歩道の整備とかいうことで、現在、平群町の住民の方がボランティア活動でやっていただいている事業を応援するという部分でのコミュニティー事業として、ふるさと納税の対象にしたものでございます。

今年度の減額の要因でございますが、ちょっと端的な言い方で恐縮なんですけども、本来、それぞれ今申し上げました事業に対しての寄附額が、ちょっと思ったより振るわなかったというのが現状でございます。この部分につきましては、寄附をいただいたものを全てそれぞれの団体のほうに交付するというのが原則になっておりますので、今年度、ちょっと予算額が減ったという部分については、対象となる事業に対しての寄附額が少し減ってきたということが大きな原因でございます。

○議長

総務防災課長。

○総務防災課長

52ページの防災諸費の委託料の事業・業務委託料990万、予算を組ませていただいております。これにつきましては、土砂災害の基礎調査、いわゆる

レッドゾーンというのが今年度確定をしたということと、それと、洪水浸水想定地域というのも確定をいたしましたので、それに伴いまして、ハザードマップのやり直しといたしますか、全戸配布するために予算をとらせていただきました。

また、先ほど植田議員が申されましたように、公民館、また南保育園、今後また人権交流センター等の避難所が閉鎖されるということもありますので、それも含めて、防災計画の見直しもさせていただくということでございます。

以上です。

○議 長

ほかにございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、総務費に対する質疑を終わります。

続きまして、民生費に対する質疑に入ります。61ページから78ページまでです。植田君。

○6 番

これは資料請求でお願いしたいんですけれども、69ページの西和の5町の病児保育についてなんですけれども、これ、来年度、4月1日からスタートすることになんのかどうなのか。それと、どういう体制でスタートするのか、そこら辺のちょっと詳しいものがわかるものを出していただきたいなというふうに思います。負担金の算出根拠も含めてね、そういうものを出していただきたいというのと、70ページの学童保育の各学童の定員並びに入所状況、多分2月末で切ってはと思うんだけど、それと、指導員の配置数ですね。去年はなかった指導員、それぞれどういう配置になるのかというのと、長期休暇中の利用者数、過去3年の実績、そういったものをちょっと出していただきたいというのが一つ。

それと、71ページのこども園の関係で、これも昨年出してもらったんですが、31年度のクラス別園児数と職員配置という状況で、去年もその資料出してもらったんで、来年度、31年度がどうなるのかっていうものを出していただきたいというふうに思います。

それと、こども園の関係でいけば、延長保育の利用状況、昨年度と同じ資料、それと一時保育の利用状況、昨年度の資料に追加して、申し込み者数も入れていただきたい。それから、年齢別の利用人数ですね、ここら辺もちょっと入れ

ていただきたいなというふうに思うんですが、お願いできますでしょうか。

○議長

福祉課長。

○福祉課長

病児保育について、資料請求ございました。開始につきましては、来年1月からという見込みで予算計上しております。財源内訳、それから、わかってる範囲内での詳細を提出させていただきます。

○議長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

それでは、学童保育の関係でございます。それぞれ学童保育所の定員及び入所の2月末の状況、そして指導員の配置数、そして長期休暇の実績ですね、過去3年間ということでしたけれども、出させていただきます。

それと、こども園の関係ですが、31年度のクラス別の児童数、そして職員の配置状況、それとですね、30年度の延長保育の利用状況と一時保育の利用状況、そして、あわせて31年度ですね、31年度の申し込みの状況ですか、年齢別のということでしょうか。

○議長

植田君。

○6番

年齢別の分については、去年の、最終的に実績で、どういう年齢別での利用があったのか。また、31年度はこれからなんで、わからないと思うんですけども。というのと、それから、申し込み者全員が使えるっていう状況ではないというふうにお聞きしたんです。何回かもう使えなかったと、抽せんにも漏れたということがあったんで、申し込み者に対して、だから、言うたら、受け入れ人数を上回る申し込みが多分あったんだと思うので、そこら辺がわかるちょっと状況、去年度、それから、一番この直近までの部分でわかる部分をお願いしたいと思います。

○議長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

それは、30年度の実績見込みということによろしいでしょうか。

「はい」の声あり

○教育委員会総務課長

わかりました。そしたら、年齢別の実績の見込み、そして、申し込みに対して受け入れしてる数のわかる資料を出させていただきます。

○議長

窪君。

○10番

今の71ページのこども園、2園についてですが、待機児童の現状、新年度からの待機児童の現状ですね。待機児童が発生するのかどうか。今、本当に新年度で、新しく職員2名、正職2名入れていただき、また、本当に御苦労してくださってることはよく評価をしておりますけれども、今の現状を御説明願いたいと思います。

○議長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

資料請求ではなくてですか。現状ですか。30年度につきましてはですね、御希望されてる方の入所につきましては、園で入所が終了しております、それぞれの園で努力しておるところでございますけれども、31年度につきましては、今現在で、ゼロ歳児で2名、そして1歳児で1名の待機が出るのではないかと想定でございます。まだ、ただ、4月スタートまであと1カ月近くありますので、今現在、保育教諭の確保に向けて、鋭意努力しているところでございます。

○議長

窪君。

○10番

ゼロ歳2名、1歳1名と、そこまで至るまでも大変努力していただいていることはお聞きをしておりますけれども、一定、期限を切らないと、ほかを探さないといけないということにもなりますので、できるだけ、この3名の待機児童がないような形をお願いを、要望しておきたいと思います。

以上です。

○議長

山本君。

○1番

前年度に出ております、今の待機児童に直接関連してくるのかなと思うんですが、町外保育の利用人数ですね。これ、またわかるようでしたら、出してもろていいですか。

○議 長

福祉課長。

○福祉課長

町外保育の利用人数を出させて、30年度実績と31年度見込みでよろしいでしょうか。

「はい」の声あり

○福祉課長

出させていただきます。

○議 長

馬本君。

○12番

今、待機児童の関係で、結局、教諭が不足してるということやろう、結論的には。要するに、ハード面の部屋とか、そういうのは皆ありますよと。けれども、なぜそのようになったか、原因はどのように分析されてますかということをお聞きしますが、御答弁いただけますか。

○議 長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

教育委員会で分析というところまでは至っていませんが、思いとしましてはですね、原因は、正職配置も厳しいところがございますけれども、今現状、産休、育休、産休の方が2名、そして育休の方が4名おられます。そのかわりに、任期つき職員の採用も行っていただいております、そこに充てていただいているわけがございますけれども、やはり全国的にも保育教諭が不足しているということ、そして、それぞれの自治体が本当、保育教諭の確保に苦勞をしているという状況でございますので、平群町だけが保育教諭不足ということではないんですけれども、なかなか、身分保障も含めまして、臨時職員さんの身分保障がやっぱり安定しないということもありますので、やめていかれる臨時職員さんがおられるということで分析をしております。

○議 長

馬本君。

○12番

それはわかってんねん。よその市町村にも聞いたら、やっぱり、そのためにもね、どのようにしてはるかっていったら、正職とってはる、やっぱりな、正

職。要するに、期限つきの職員じゃなしにね、臨時職員的な職員でもなしに、ある程度ね、前一遍どっかで、議会で私、言わせてもうたと思うけど、正職員50%行ってないやろう。達してないでしょう、実質上。だから、今回、その関係で、正職員をお二人、31年度から雇用されたわけですが、やっぱり身分保障じゃないけどね、そういうふうに向かってね、正職員確保に向かって、やっぱり努力していかなあかんちゃうかなというふうに思う。

よその市町村に聞きましたけどね、ある町で、正職員やったら、すぐ来てくださいって言うてはりましたで。そんなとこまであったでしょう。年齢制限を上げましたと、うちのは。要するに、35歳を40歳にしましたよと、そういうところもあったですよ。だから、皆、確保に必死なんですよ。せやから、うちの方針としては、第2次財政改革が、確保の関係で、第2次の関係のを言うてはることもあるけどもね、財政健全化計画もされてるけどもね、この保育士さんいうたら特例やわ。別や。というふうに、正職員雇わないとということ、第2次の健全化計画、おっしゃってますけどね、これはちょっとぐあい悪いんちゃうかなと。そういう関係で、身分保障の関係の正職員の募集をするというふうな方針に変えられたほうが、待機児童は、私は解消できるんちゃうかなというふうに思いますんで、その点、より一層の御検討をよろしくお願いを申し上げます。

以上です。返事、結構ですよ。

○議長

下中君。

○11番

76ページ、町民集会の講師謝礼ということで、新年度も10万円という計上されております。以前、5万円が10万円になって、やれやれというところですけどね。実際のところ、10万円でどれだけの講師が来ていただけるかという、大変なことだと思います。新年度もある程度確定はしておりますけどもね、やはりこれは見直してね、その倍の20万ぐらいにでもと私は思いますけれども、その点はいかがですか。

○議長

総務防災課長。

○総務防災課長

ありがとうございます。今のところ、何とか10万円で来ていただける講師さんもおられるということで、来年度、31年度もそういうふうな予算を組ませてもらいました。高い講師料を払えばいい講演をしていただけるかということもいろいろあるんですけども、何とか10万円で来ていただける講師さん

を依頼をかけまして、町民集会をしていきたいというふうに考えてます。よろしくをお願いします。

○議 長

下中君。

○11番

新年度は、私も聞いてるところで、ある程度確定して、その範囲内らしいですけどね。やはりこれから毎年、これ、続くわけですのでね、やはりもう少しね、4倍も5倍もせえということではないですけどね、またそれ、先ほど課長の言われたように、講演料が高けりゃ立派な講演であるということは決まってるんですけどね、やはりある程度の方を来ていただくというふうになれば、ある程度の金額が必要だと思いますのでね、これにはね、やはりできるだけ、最低今の、現行の2倍ぐらいにはね、よろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○議 長

稲月君。

○5 番

76ページの平和啓発推進費のことなんですけど、今、下中議員のほうから町民集会の講師料の話が出ましたけれども、平和のための戦争展については、全予算で6万円と、いろいろ諸経費含めてね、全てで6万円で、いつも全体の集会なんかで講師を来ていただいたりとか、とにかくその6万円以内で講師も含めてやらなあかんというね、非常に大変な運営をしてる、私も実行委員なんで、してるのが現状でございます。それで、足らなかつたら、実行委員会の中の団体として寄附、拠出をして、各団体ね、5,000円なり1万円なりね、そういう拠出をして、何とかその講師を確保してるっていうような状況、余りにも講師をお呼びをするということなんかでは無理な予算配置になってるということではね、ぜひとも御検討いただきたいっていうふうに考えます。

○議 長

総務防災課長。

○総務防災課長

平和のための戦争展につきましては、本当に各種団体の方々にはいろいろと御協力をいただきまして、いつも盛大にやらせていただいているものと感謝申し上げます。ただ、6万円という数字ですけども、私どもも、何とか増額をしていきたいんですけども、やはりこういう状況でございますので、何とか6万円で、実行委員会のほうにはお願ひをしたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○議 長

ほかにございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、民生費に対する質疑を終わります。

続きまして、衛生費に対する質疑に入ります。79ページから88ページまでです。窪君。

○10番

昨年も出していただいている資料請求ですが、予防費で検査検診委託料の内訳をお願いします。

そして、同じく母子保健事業費で検査検診委託料及び一般不妊・不育治療助成金の内訳をお願いしたいと思います。

そして、三つ目は、健康増進事業費で検査検診委託料の内訳をお願いします。

そして、最後に、風疹とか特定健診などの保健事業ございますが、これの近隣の状況がわかる一覧をお出し願いたいと思います。

以上です。

○議 長

健康保険課長。

○健康保険課長

ただいまの資料請求でございます。予防費の検査検診委託料ですね、それから母子の検査検診委託料の内訳、そして不育・不妊治療の助成金の内訳、それから健康増進事業費ですね、健康増進事業費の検査検診委託料の内訳ですね、それと、近隣の保健事業の比較表ということですので、わかる範囲でお出しさせていただきますきたいと思います。

以上です。

○議 長

植田君。

○6番

資料請求です。83ページの斎場の関係での、去年も出してもらってますが、斎場の使用状況、わかるものが一つ。

それと、これも去年かな、不燃物の処理委託料の状況がわかるものですね。

それと、し尿処理費の財源内訳、仮置き焼却灰の状況など、去年からどうなっているのかというのを知りたいので、その辺の資料をお願いいたしたいと思

います。

それと、一般廃棄物の基本計画と実績の推移、これも含めてお願いいたします。

○議長

住民生活課長。

○住民生活課長

斎場使用状況について、資料を出させていただきます。

それと、清掃センターの関係で、不燃物処理状況のわかるもの、同じく清掃センターで、仮置き焼却灰の昨年からことしの予算の関係でわかる資料、一般廃棄物処理計画と現状のごみ排出とのグラフ化して、わかりやすい資料ということで、それと、し尿処理の財源ということで、し尿の内容内訳について、わかる資料を提出させていただきます。

○議長

下中君。

○11番

84ページ、斎場運営費の中で690万円工事請負費が出てますけども、その具体的な内容をお願いしたいと思います。

○議長

住民生活課長。

○住民生活課長

斎場運営費の工事の具体的な内容を示したものを資料として出させていただきます。

○議長

下中君。

○11番

今の分、資料で結構ですので、よろしくをお願いします。

○議長

植田君。

○6番

もう1点、ごみの関係で、指定ごみ袋に関する内訳です。ことしも、来年度予算も製作費というの、上がってましたんで、この間の実績、それから在庫状況、作成状況。紙おむつで、子どもの、幼児の分とかはたしか配布、無料で渡してる部分もありますよね。そこら辺とか、それから高齢者の在宅での分なんかも、一定そういう無料配布の部分があると思うんですが、それも、去年の場合は販売見込み数の中に入れてたみたいなんですが、もしある程度分けれるん

であれば、そこら辺、分けた分での資料、出していただけますか。

○議 長

住民生活課長。

○住民生活課長

指定ごみ袋の昨年と同じような表と、それと、今ありました、おむつの関係の、子ども、高齢者の無料配布の分の一覧、わかる資料として提出させていただきます。

○議 長

ございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、衛生費に対する質疑を終わります。

続きまして、労働費に対する質疑に入ります。88ページです。ございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、労働費に対する質疑を終わります。

続きまして、農林水産業費に対する質疑に入ります。88ページから93ページまでです。窪君。

○10番

92ページのナラ枯れ対策事業費補助金の内容、わかるものをお示しく下さい。平成30年度見込み分でお願いしたいと思います。

○議 長

観光産業課長。

○観光産業課長

それでは、ナラ枯れ対策補助事業の平成30年度の決算見込みということで、資料をお出しさせていただきます。

○議 長

山本君。

○1番

こちらの91ページ委託料ですが、197万6,000円、特産品開発料と

ということで、こちらのほうの予算の資料をお願いしたいと思います。

○議 長

観光産業課長。

○観光産業課長

それでは、特産品開発事業の予算科目別の資料ということでよろしいですか。
それでは、資料お出しさせていただきます。

○議 長

稲月君。

○5 番

91ページ、有害鳥獣駆除負担金ですね、これについて、資料請求をお願いをしたいんですが、今年度、いろいろ電柵やら、メッシュの柵やら、いろいろ対策について、希望というか、要望された数、件数、電柵が何件のつけたいというふうに申し出があって、どれだけそれが実現をしていただいたのか、補助をつけていただいたのか、その辺の数とかがわかれば。なぜかというのと、要望したのに、時期的に少し遅かったのか、断られたと、そういうことがあったということでお聞きをしましたのでね、そんなことが現実起こってきてるのかどうか。非常にイノシシも、ことしなんかはたくさん出たというふうに、私も何遍も会ってますしね、思ってるんですけども、その辺の対策のところの、ちょっとわかんないけど、中身、大体わかってもらえたかな、言ってること。

○議 長

観光産業課長。

○観光産業課長

それでは、有害鳥獣の駆除負担金ですね。これについては、要望があって補助をするという形ですので、30年度の実績見込みという形でお出しさせてもらったらよろしいですか。

「31年度の積算も」の声あり

○観光産業課長

それとあわせて、31年度の予算根拠ということでお出しさせていただきます。

○議 長

ございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、農林水産業費について質疑を終わります。

続きまして、商工費に対する質疑に入ります。93ページから95ページまでです。ございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、商工費に対する質疑を終わります。

続きまして、土木費に対する質疑に入ります。95ページから101ページまでです。窪君。

○10番

97ページの道路新設改良費委託料及び工事請負費の内訳の資料請求をさせていただきたいと思います。

○議 長

都市建設課長。

○都市建設課長

窪議員、委託料と工事請負費の資料請求ということですが、ただ、例年と異なりますか、大きな維持補修工事、工事については維持補修工事の内訳、委託料につきましては測量設計と調査委託料の内訳ということで出させていただいていますので、そちらのほうで提出させていただきます。

○議 長

井戸君。

○3番

資料請求をお願いします。一番大きくなってます、100ページの補助金、区画整理、平群駅前整備事業費の2億円の件ですけども、全協である程度は資料でいただいたんですけども、それよりももう少し詳細、詳しくわかる資料があればよろしくをお願いします。一番住民の方々から御批判いただいている時計台であるとか、ああいうの中身ですね、実際の金額の中身と、あと、どのような経緯でどういう決め方をしたのかですね。総会か何かで決定されたのかという、ちょっと議会の外でのことばかりですので、その辺も詳しく、ある範囲で結構ですので、お願いします。

○議 長

都市建設課参事。

○都市建設課参事

議員の資料請求の2億円の内訳について、提出をさせていただきます。

あと、今おっしゃってました、組合の中の決め方等、組合の中で毎月1回理事会が開催をされております。その中で決まっていくというものがありますけれども、理事会の内容につきましては、ちょっと組合の会議録等は財産になってしまいますので、組合のほうからその内容についてお出しするのはちょっと難しいかもしれないですけれども、2億の内容については資料を出させていただきます。

以上です。

○議長

ございませんか。

「なし」の声あり

○議長

ないようでしたら、土木費に対する質疑を終わります。

続きまして、消防費に対する質疑に入ります。102ページから103ページまでです。ございませんか。

「なし」の声あり

○議長

ないようでしたら、消防費に対する質疑を終わります。

続きまして、教育費に対する質疑に入ります。104ページから124ページまでです。窪君。

○10番

3点、資料請求させていただきます。

120ページの(仮称)文化センター施設備品購入費の内訳がわかる資料をお願いしたいと思います。

それから、学校トイレの洋式化率の一覧です。平成30年度の時点での一覧で結構です。

それから、小中学校のエアコン設置、今、鋭意努力していただいておりますが、ことしの7月まででエアコン全面設置になると思います。各小中の普通教室、特別支援、また特別教室の設置数の資料を出していただきたいと思います。

それからですね、中学校費で学校図書ですね、学校図書の図書司書のことを、

これまでから議会でも質問させていただき、前向きに、昨年の私の一般質問では大変前向きに御答弁をいただいたと思いますが、新年度ではどのように、中学校の学校図書司書、どのように反映してるか、今ここでお尋ねしたいと思います。

○議長

教育委員会総務課参事。

○教育委員会総務課参事

ただいま、文化センターの備品についての資料請求をいただきました。文化センターの備品については、大きなものから小さなものまで数多くございますので、類似する小さなものについては、ある程度大きくまとめて出させていただきますのでよろしいですかね。

「はい」の声あり

○教育委員会総務課参事

そしたら、資料として提出させていただきます。

○議長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

それでは、1点目の各学校のトイレの洋式化率ということで、30年度末の状況で一覧表にして出させていただきます。

そして、小中学校のエアコン設置の教室数でございます。3小学校別、そして中学校、普通教室と特別支援教室、特別教室、表に分けて出させていただきます。

それと、中学校費の図書館司書の配置についての、31年度予算への計上の内容ということでございますが、中学校は、それぞれの教科によって、子どもの図書館への出入りがなかなか、いろいろ変わってきますので、常に、常時、学校図書司書を配置しておくということではなくてですね、時間給の学校司書の配置ということで、約90万円の賃金で次年度予算、計上させていただきます。

○議長

窪君。

○10番

図書館司書の配置、小学校みたいにお昼休みごとに来て、そこでというのは、私も、それは一定理解できます。時間給ということで、90万という予算

を計上されておりますが、これが、予算が可決してからの人選になるのでしょうか。それとも、町内で、どちらかの司書の方が来られるのか。各小学校きつちりと、3小学校、図書館司書おられますが、新たな方が来ていただくのか、お尋ねしたいと思います。

○議 長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

30年度につきましては、それぞれの各小学校から応援体制で中学校に司書を配置をして、応援で入っていただいていたわけですがけれども、小学校とはもう別にですね、中学校に中学校の司書という形で、時間給の司書を配置したいと考えております。

○議 長

窪君。

○10番

ということは、専任司書の配置をされるということで受けとめさせていただいてよろしいですね。

○議 長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

中学校専任に司書を配置させていただくということでございます。

○議 長

ほかにございますか。下中君。

○11番

117ページで、直接ちょっと新年度予算に関係あるかどうかわかりませんが、出土品の保存等ですけども、それを、ましてね、樺井城址の件、初め、年内に完成全部させて、発表するという予定でしたけれども、年度内で間に合いますのかな。その点、どうですか。

○議 長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

樺井城跡の報告書の件でしょうか。今現在、印刷のほうを発注をさせていただいておまして、3月末には資料のほう、報告書のほうが作成、でき上がってきますので、その資料を活用して、それぞれの団体、そして関係団体、それぞれにお配りをさせていただくという内容でございます。

○議 長

下中君。

○ 1 1 番

ほんなら、今、もう印刷にかけてるという段階で、年度内には必ずできると、
ほんで、関係諸団体へ配布できると、そういう予定ですかね。

○ 議 長

教育委員会総務課長。

○ 教育委員会総務課長

はい、そのとおりでございます。

○ 議 長

植田君。

○ 6 番

就学援助の関係で、この間の対象者、要保護、準要保護、それぞれ各小中学校ごとの人数、お願いしたいのと、それから今現在、単価、この前の補正予算、たしか上がってると思うんですけど、中の費目と、それと、それから費用、その額ですね、わかるものを、すいませんが、一覧でお願いいたします。

○ 議 長

教育委員会総務課長。

○ 教育委員会総務課長

小中学校の就学援助の対象者の推移ということでよろしいでしょうか。出させていただきます。それと、それにかかわります単価の関連の内容ということで、出させていただきます。

○ 議 長

ほかにございませんか。

「なし」の声あり

○ 議 長

ないようでしたら、教育費に対する質疑を終わります。

続きまして、災害復旧費に対する質疑に入ります。124ページです。ございませんか。

「なし」の声あり

○ 議 長

ないようでしたら、災害復旧費に対する質疑を終わります。

続きまして、公債費に対する質疑に入ります。125ページです。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、公債費に対する質疑を終わります。

続きまして、予備費に対する質疑に入ります。125ページです。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、予備費に対する質疑を終わります。

続きまして、一般会計歳入全般についての質疑に入ります。14ページから41ページまでです。山口君。

○7 番

何点か聞きます。

今年度の個人住民税の調定額見込み、まず一つ、それ先に。

○議 長

税務課長。

○税務課長

今質問された、今年度ということで、30年度でよろしいですか。30年度の見込みですが、9億4,900万程度となると思っております。

○議 長

山口君。

○7 番

予算で9億6,060万組んでたんですよね、当初予算でね。実際、それよりも大分減ってるんですよ。いつとき、前から何回も言ってるように、平成20年度に12億5,000万かな、12億以上あったんですよね。それが、今、これ、9億、10億切って、もう大分なりますけれども、いつとき、ちょっと下がり方が少なかったんですが、ここに来てまた、29年度決算は9億6,000万でしたから、それより1,000万ちょっと、1,000万以上減ってるんですね。今年度の予算組んでるのが9億4,100万ですから、また下がると。もう本当にじり貧の状況。当然人口が1万8,900人切りましたから、それで下がってくるのは、ある意味、当然といえば当然なんですけどもね。それと、1人当たりの年収っていうか、収入も減ってるというのも、いろんな指

標で見ればわかるんで、なんですけど、もうこれね、本当にね、もうじり貧状態というふうに思うので、これは町長に聞きたいんですけども、前からね、12月議会では窪議員のほうからも質問ありましたけども、定住促進なり子育て支援なり、要するにね、本当にね、それですぐ税収上がる、特効薬はありません。特効薬ではないですけども、徐々にでもっていうのであれば、よそやってるから、やりたくないのかもわかんないですけども、定住促進っていう形でね、本当にそれ、真剣に考える部署をつくってやらないと、本当ににっちもさっちもいかない状況になるっていうのは、この個人住民税見てたらわかるんですよ。平群町は産業って、大きい産業そんなにないんですから、個人住民税をしっかりと集めるといって、個人住民税が上がってくると、当然それは住民の皆さんの所得が上がってるわけですから、そこを資本にする必要があると思うんで、ちょっとその点ね、本気で定住促進、子どもが入ってくるような、子育て支援、お金使うことはなかなかできにくいですけども、もっとほかに金使わなくてもできる方法があるんじゃないかということで考える部署、それに特化した部署を本当に早くやるべきだというふうに思うんです。その点だけ、町長の考えを聞かせてください。

○議 長

町長。

○町 長

確かに全国的にも人口減少と、平群町では人口減少してますし、高齢化も進んでるということで、なかなか所得についても、住民税についても減ってるということであるんですけども、今年度の要綱の中でも、平成31年度以降も定住促進ということで、固定資産税の還付金のほうも延長させていただきました。これについては、しっかり定住促進についても考えてまいりたいというふうに考えております。

○議 長

山口君。

○7 番

いや、それは、ここ何年か前からやり始めて、効果はあるんでしょう。それはそれでいいんです。でも、そんなんじゃなくって、何もお金を使うばかりでなくってですね、本当にいろいろ皆さん、ほかの自治体は考えてるわけですよ。そのための専門に特化した部署をつくって、いろんなところを調べるわけですよ。全国1,700ある自治体のいろんな施策を調べるわけですよ。それで成功してるところとか、それが平群に合うかどうかも含めてですね、そういうことをきちんとやらないと、漫然とやってたって、もうどうもならないです

よ。今年度も11億、公債費、超えてるわけじゃないですか。名目上は10億8,500万になってますけども、特会のほうにも1,350万あるわけやから、足したら、もう11億超えてるんですよ、新年度は。それがずうっと、15年続くわけでしょう。そんな状況なんだから、もう赤字になるとかならんとかの話じゃなくて、どう中期的に町として健全な財政にできるかというのを考えなあかんのです。ここ一、二年の話じゃないんです。とりあえず赤字団体にならなければええということで、借金ばかりやるっていうのは、もう今後できないんですよ、基本的に。借金もできなくなる、そういう状況だという危機感を持ってですね、地道にやっていく必要があるから、今みたいな答弁やったら、もう全然何もやる気ないのと一緒なんです。そのことは、これ以上聞いても一緒ですから、言いませんけども、そこはしっかり頭に入れていただきたいということはお願ひしておきます。

それからですね、ついでに、固定資産税についてですね、これもいつまで取んねんというのがね、もういつまで取んねんですよ。もうことしで、新年度で12年です。もうこれやったら、完全に、何ていうんですかね、特別じゃなくて、それが普通になって、もちろん支払う金額は、平群町の地価がまだ下がり続けてますから、そんなに負担というふうに住民の皆さんも思っておられないかわからないですけども、やっぱりどっかでね、徐々にでも標準税率に戻すようなことも含めてですね、私は、庁内でしっかり検討していただきたいということをお願いしますが、検討する気があるのかどうか。いや、もうこんな財政状況やから、とても無理ですわ、バンザイということなのかね。その点はどうか。

○議 長

町長。

○町 長

今、山口議員の質問にありましてとおり、非常に財政厳しいということで、固定資産税の超過税率も平成20年度から0.18%上乘せで徴収いたしています。住民の方には申しわけないんですけども、今のこの財政状況を考えれば、このまま引き続き、申しわけないんですけども、少しの間は超過税率で徴収をしまいたいというふうに考えております。

○議 長

山口君。

○7 番

めどがないということですね。わかりました。

それと、もう最後に1点だけね。特別交付税の金額は確定しましたか。

○議 長

政策推進課長。

○政策推進課長

御質問にお答えさせていただきます。

30年度の特交につきましては、まだ、今のところ、金額の確定はしておりません。

○議 長

ほかにございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、一般会計歳入全般に対する質疑を終わります。

以上、議案第16号に対する質疑を終結します。

それでは、午後2時30分まで休憩いたします。

(ブー)

休 憩 (午後 2時12分)

再 開 (午後 2時30分)

○議 長

休憩前に引き続き再開いたします。

(ブー)

○議 長

各特別会計、各事業会計の予算に対する質疑に入ります。

議案第17号 平成31年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算についてに対する質疑に入ります。山口君。

○7 番

これも毎年聞いてますけれども、平成30年度の見込みということで償還金残高、それからですね、もう既にほぼ出てると思いますが、実質単年度収支と実質収支、今わかれば答えていただけますか。

○議 長

税務課長。

○税務課長

それでは、質問にお答えいたします。

地方債の償還金残高でございますが、平成30年度末で約950万円程度となっております。

それから、平成30年度の決算見込みでございますが、実質単年度収支で約200万円の黒字、実質収支で約150万円の赤字と予測しております。

以上でございます。

○議 長

山口君。

○7 番

ここ3年連続で実質単年度収支が黒字ということで、まだ滞納分、滞納はたくさんありますけれども、国に対してももう1,000万切ってきたということですね、あと3年で事業、4年かな、平成34年に終わる予定ですがけれども、そのあと、残るのは、基本的に滞納の収納と、分納で納めておられる方も多いで、そういう意味では、この事業、これでほぼ、あと4年で終わるといことなんで、先が完全に見えたなというふうに思ってます。よそは大変な状況のところが多い中で、平群町はね、奈良県下でも一番うまくいったほうではないかというふうに思っています。それで結構です。

○議 長

ほかにごいませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、議案第17号に対する質疑を終結します。

続きまして、議案第18号 平成31年度平群町国民健康保険特別会計予算についてに対する質疑に入ります。窪君。

○10番

国民健康保険特別会計の年度別収支、約10年間程度の資料請求をさせていただきたいと思います。

それから、もう1点、基金の近隣の状況もあわせて、2点、資料請求させていただきたいと思います。

○議 長

健康保険課長。

○健康保険課長

ただいま資料請求ございました国民健康保険の会計の年度別収支、10年程度の収支と、それから、近隣の町の基金の保有状況を出させていただきたいと

思います。

○議長

山口君。

○7番

国保については、この間、相当な値上がりがあって、今議会には、私のほうからも引き下げの議案を出させていただいてますけれども、既に2月の国保の運営協議会に、平成30年度の収支状況、決算見込みが出されてます。その決算見込みについて、まず説明いただけますか。

○議長

健康保険課長。

○健康保険課長

2月の国保の運協のときですね、出させていただいたんですけども、ことし、今年度の収支、歳入差し引き収支ですけども、1,200万円程度の黒字を見込んでおります。それにつきましては、財政調整基金の積み立てであるとか、それから繰越金も含めた形での1,200万円でございます。

以上です。

○議長

山口君。

○7番

ちょっと初日にも言いましたけれども、1,269万6,000円の黒字見込みと、もちろん確定ではありませんが、そのときも言いましたけれども、平成29年までと違って、新しい制度、県単一化になってからですね、新しい制度になって、そう大きな誤差は出ないというふうに思うんですが、その考え方で基本的に間違いはないですか。

○議長

健康保険課長。

○健康保険課長

ただいまの御質問ですけども、当然ですね、医療費に関しての誤差がないということでございます。それで、今、県へ納める金額っていうのはまだ、医療費に関しての部分については変更ございませんけども、あと、その他もろもろについてですね、追加して払う分っていうのがまだ確定しておりません。その分が若干の誤差があるかと思えます。それと、当然ですね、税収入についてもまだ確定はしてませんし、ただ、県からいただける普通交付金については、当然医療費相当分について交付を受けますので、ほぼ近い形になると思えますし、ただ、特別交付金についてはさじかげんっていうところがたくさんありますの

で、まだ確定はしておりません。

○議 長

山口君。

○7 番

まだ未確定な部分は幾らかあるということですがけれども、基本的に、1, 200万が赤字になるとかですね、そういうことは多分ないだろうというふうに思います。そういう中でね、31年度については、予算も組まれて、予備費に2, 000万上げる、2, 000万余裕があるということで、2, 000万予備費に上げてるわけですから、当然その分は、予算上も黒字だと見込んでるんだと思うんですね。去年問題になった点についても、初日にも言いましたけれども、県のほうが、平群町の加入者数が相当減ってる部分を完全に見てくれてですね、そこの乖離がほぼなく、逆に、平群町のほうが35人分高目に新年度予算を組んでるということですのでね、その人数がどうなるかによって、今の話、新年度予算についても決算では変わってきますけれども、しかし、そう以前みたいに、医療費の増嵩によって大きく収支が変わるということがないわけですから、それと、過去の精算金も今年度、新年度が最後、ちょっと残るんかもわかんないですけれども、基本的になくなるということを考えればね、3, 000万円程度の引き下げはね、私は可能だと思うんですが、当局としてはどのように考えておられますか。

○議 長

健康保険課長。

○健康保険課長

3, 000万円程度の基金の積み立て、そして30年度の1, 000万程度の黒字、そして31年度の2, 000万の黒字ということであればですね、議員おっしゃられるように、6, 000万程度の余剰金があるというふうに見込んでるのは確かでございます。

ただですね、県が33年度から見直しすると、32年度に、1年間かかって方針を考えるということに今決まっておりますので、その辺の動向によってですね、どう変わるかというのがわかってこない。それから、医療費ベースですね、県が今現在出している医療費ベースが33年にどういう医療費ベースになるのか、その辺がまだわかってない状況です。それとですね、36年度になればですね、今言われてるのが、住民の皆さんからいただく保険税につきましてはですね、医療費だけに充てるという形になります。ということはですね、今現在やっている保健事業についての財源っていうのが生まれてこないということになりますので、今現在、私どもがやっている特定健診であるとかですね、

人間ドックとかの保健事業に関しての費用がですね、捻出をすることができなくなってしまうと。当然特定健診については3分の1、3分の1、3分の1っていう負担がございまして、確かに基準であればそうなんですけれども、基準外でっていう、単価が違いますので、補助単価と実際の単価が余りにもギャップが大きいということで、町の持ち出しもかなり大きくなっていくっていうことも今後見込めます。そういうことも含めてですね、やはり健全な保健事業も今後も引き続きやっていこうということであればですね、ある程度の財政の健全化を図る上で、基金なり余剰金っていうのは持っていたほうがいいん違うかなというふうには私は思っています。

以上です。

○議 長

山口君。

○7 番

複雑なことを聞いてるんじゃないくてね、どっちにしたって、平成36年、もう平成なくなるから、2024年度ですけれども、2024年度には県のほうが全部するっていうわけでしょう。町は、もう要するに、お金集めるだけじゃないですか。集めて、県に納めるだけじゃないですか。もちろん保健事業が一般会計としてやるのか、どうなるのか、その辺はまだ決まってないようですから、何とも言えない部分もありますけれども、どっちにしたって、保険税は、もう奈良県全部一緒になるわけでしょう、その段階ではね。そうなったときには、保健事業云々なんて言ったって、もうそれは平群町が独自に考えることであってですね、県のほうはあずかり知らんわけでしょう。じゃあ、県が決めた料率に保健事業費全部上乘せして、各市町村、自分とかがやってる分だけ上げるというふうにするのかどうか、その辺も決まっているのかどうかわかんないですけども、ただ、そんなこと言い出したらね、いつまでたったって、余裕持って、余裕持ってっていうふうに言いますけれども、上げて2億5,000万の赤字になるって説明してですよ、要するに、詐欺みたいな話しといて、ほんで、結局は、黒字になったら、今度は下げないって、そんなふざけた話ないでしょう。

私、そんなこと聞いてるんじゃないくて、可能かどうか聞いてるんです。今の財政、新年度予算まで見た中でね、可能かどうか聞いてるんですよ。そこだけ教えてください。可能性はないと、上げたら、要するに、たちまち赤字になって、そんなことできません。いろんな説明して、こんなんある、こんなんあるって、そんなん、まだこれからわかんないじゃないですか。県が33年度にどうするかなんて。でも、今、県が出してる、統一したときの、36年

度の料率で今平群町が計算したって、どれだけ高いですか。いや、もちろん途中で、これからまだ5年後ですから、時間あるから、その間に医療費がどうなるかわからん部分はちょっとはありますけども、でも、県が今の段階で出してる、平成36年度の統一したときの料率から見たって、平群町の今の税率っていうのはむちゃくちゃ高いんですよ。だから、それまで、じゃあ、統一するまで平群町は一切下げないということなのか、可能かどうか聞いてるんです。そこんところだけ教えてくださいよ。

○議長

健康保険課長。

○健康保険課長

今も申しましたように、6,000万程度の余剰金が見込めるっていう事実でございます。ただ、けども、それでイコール下げれるっていうふうには思っておりません。というのはですね、今後どうなるかわからへんっていうの、議員もおっしゃってるとおりですけども、県がどういうふうな、今度、36年度到達の後ですね、医療費の水準を見てくるかというの、まだ全然わかってません。それと、今、平群が一番高い税率と言うてますけども、それに、よその市町村がそこへ近づいてくるっていうことになると思います。ただ、今、県が言うてる医療費水準がですね、高齢化率しか見てないと、それも、県が今どういう考えでおられるのかわかりませんが、33年に見直しをするというふうに限定している以上ですね、そこまでは様子を見ていかなあかんと思います。私も、今のところ、必要であればですね、33年のときに検討はするべきやと思います。

○議長

山口君。

○7番

担当課長としてはもちろんね、安定的に財政運営をしたい、それはそのとおり、わかるんです。ただね、じゃあ、払うほうの立場で考えなさいよって、前から言ってるようにね、そこなんです。ほんでね、下げたら、また今度、それで上げたら、また前と一緒のようなことになるって、こうおっしゃるんだけども、本来なら、単年度、単年度、その時々、必要な分だけ上げ下げするっていうのが本来。そんなこと、あんまりあったらややこしいから、できるだけそうしないようにはしてますけども。

よそも追いついてくるって言いますけどね、今のままやったら、青天井で上がるんですよ。そんなこと、国もやるわけないし、全国知事会だって、いろんな要求してるわけじゃないですか、国に。そんなこと、今まで、平群以上の青

天井になんかなったら、誰もみんな払えないです、そんなん。生活できなくなります。まず生計がもちません。そんなことにはならないんです。これまでもそんなことにはしてこなかった、政治で。それは当然のことなんです。こんなん、これ以上、平群町みたいに15%から20%もね、収入の、国保税だけで取られるっていうことになれば、払えなくなります。平群町で97%も収納率があるっていうのは、それは画期的なことですよ、本当に。それぐらい無理して払ってはるんです。やっぱり医者に行ったときに、病気になったときに困るから、ほかを削ってもというのが実態なんですよ。やっぱりそこも考えてほしいなって、きょうは、ここは今、その議論するところじゃないから、またそのときに言いますけれども、今の課長の答弁は、それはそれでわからなくないけれども、財源としてはあるわけですから、その辺はね、きょうは町長にも聞きませんが、その辺はしっかり考えてね、町もね、ある意味、決断すべきですよ。そのことは指摘しておきます。

○議 長

質疑ございませんか。山本君。

○1 番

これ、13ページになるんですけども、名称の確認だけになるんですけどもね、報酬、総務費、運営協議会費の目、運営協議会費ですね。これ、私も委員長として、加入させてもうてるんですけど、制度改正によって、平成30年度から、国民健康保険事業の運営に関する協議会ということに正式に変わってるはずなんですけど、この委員報酬等の下に国民健康保険、国保運協とよく言われる名前のままに残ってるんですけど、ここは変更はされませんかでしょうか。

○議 長

健康保険課長。

○健康保険課長

30年度からですね、協議会の名称が変更になりまして、当然変更すべきやと思っております。ただ、全県的に、その辺についてはまだ協議がなくて、よその市町村のこと確認してないんですけども、今後ちょっと検討させていただくということで、よろしくお願ひします。

○議 長

質疑ございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、議案第18号に対する質疑を終結します。

続きまして、議案第19号 平成31年度平群町水道事業会計予算について
に対する質疑に入ります。ございませんか。

「なし」の声あり

○議長

ないようでしたら、議案第19号に対する質疑を終結します。

続きまして、議案第20号 平成31年度平群町下水道事業会計予算について
に対する質疑に入ります。質疑ございませんか。

「なし」の声あり

○議長

ないようでしたら、議案第20号に対する質疑を終結します。

続きまして、議案第21号 平成31年度平群町農業集落排水事業特別会計
予算についてに対する質疑に入ります。ございませんか。

「なし」の声あり

○議長

ないようでしたら、議案第21号に対する質疑を終結します。

続きまして、議案第22号 平成31年度平群町学校給食費特別会計予算に
ついてに対する質疑に入ります。ございませんか。山本君。

○1番

これも毎年資料請求になるんですけども、地産地消の地元農産物の割合と使
用品目の資料をいただけますでしょうか。

○議長

教育委員会総務課長。

○教育委員会総務課長

地産地消事業の中の地元野菜の使用状況等につきまして、資料を提出させて
いただきます。

○議長

ほかにごございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、議案第22号に対する質疑を終結します。

続きまして、議案第23号 平成31年度平群町介護保険特別会計予算についてに対する質疑に入ります。窪君。

○10番

平群町の認知症施策の取り組みについて、31年度も含めましての一覧をお願いしたいと思います。

○議 長

福祉課長。

○福祉課長

平群町の認知症施策の一覧を出させていただきます。30年度実績と31年度計画を出させていただきます。

○議 長

山口君。

○7番

新年度予算で総給付費が17億1,400万の予算が組まれてるんですね。第7期の計画の平成31年度は2年目になりますから、計画では20億1,700万円、3億円も予算組みのほうが少ないんですね。総給付費が予算どおりならですね、これ、3億円少ないということはですよ、1号被保険者の負担率は23%ですから、6,900万円、要するに、予算どおりいけばですね、6,900万円取り過ぎたことになる。1年目どやったかということ、今年度ですよ。今年度についてもですね、今年度はもう既に2月の二十何日でしたか、介護の運営協議会のほうで出てますけれども、実績見込みが出てますけれども、1億9,700万円、計画と実績の間に1億9,700万円も差があつてですね、計画に対して実績は89.3%。これ、6期のときもそうでしたけども、5期まではこんなに乖離のある、計画と実績にこんな差あるのはなかったんですが、7期についてもですね、6期と同じように、要するに、9割行ってない。こういう中でね、計画のほうは、1年目はそうですね、2年目は20億1,700万円でしょう。3年目はもっとふえるわけですよ。22億の計画になるわけですよ。これ、計画のほうをずっと見ていくと、大体6%ぐらいずつ、9%ぐらいずつ上げてるのかな。それぐらい高齢者がふえて、ニーズが高まって、介護保険の給付費がそれだけたくさん要するという計画で立てておられるわけですね、国とかの資料とか見ながら。計画そのものがおかしいとは言いませ

んが、もう予算つくる段階で、1年目からこれだけ実績と計画に差がある、この辺はどのように見ておられるのか。当然計画も見ながら予算組みされてると思うんですが、ただ、予算の場合は前年度比で見るから、最初つくった、7期つくる前の段階の数字と大きく乖離してくるっていうのは、ある程度わからなくはないんですが、余りにも金額大きい。1年目が2億、2年目が3億、このまま3年目になると3億の乖離。ということは、3年間で6億の乖離。で、6億の23%、幾らになりますか。1億3,000万か4,000万になるんですね。だから、sonだけ乖離ある。この1億4,000万の金は何かというたら、取り過ぎたということになるんです、1号被保険者から。23%でええねんから。ほんで、ましてや、基金を1億5,000万取り崩すことになってたわけでしょう。だから、1億5,000万赤字にならなあかんのに、決算見込みでは黒字になってますし、2年目の予算組み見ても、予算だけ見ても黒字になるような予算組みになってる。この辺、どのように考えておられるのかね。

12月議会を出してあったのは、介護保険料の引き下げ出しましたけど、議会で否決されましたから、当局の責任はないですけども、ただ、当局のほうも、計画途中での引き下げはあり得ないって、こういう、町長を初め、姿勢ですから、ないんでしょうけど、今のままでいったら、率直に聞きますけど、まだ1年しかたってないですけど、2年目の予算も見た段階、計画と対比した場合、これ、3年間で基金1億5,000万、会計に投入するどころか、逆に、基金3億5,000万あったのが4億超えてくるんじゃないかというふうに思うんですが、その点、担当課長として、率直にどう見えますか。

○議長

福祉課長。

○福祉課長

まず、31年度の予算の組み方です。これ、山口議員おっしゃっていただいたとおりです。過年度の給付実績の伸び率を算出して、31年度でしたら、介護報酬の改定もありますんで、それも見込んだ予算措置をしたものです。7期につきましては、3年間で1億5,000万の基金を取り崩す計画でございました。30年度予算では394万円を取り崩す予算となっておりますが、30年度決算見込みでは3,489万円を、剰余金を基金に積み立てるっていう、そういったことになっております。このまま推移すれば、基金が3億7,000万、31年度予算では基金の取り崩しが100万、積み立てが2,956万、差し引きしますと、4億余りが基金残高になってくるって、こういう、決算上はなってきます。なってきますけども、31年度、32年度、まだ2カ年ありますんで、どれだけサービス利用料がふえてくるかっていうのは、これも、予

算上は過年度の推計で出してますけども、どうなるかわからないっていうところがございます。山口議員おっしゃるように、基金は積み上がるだろうというような予測もできると思いますが、余れば、次の8期でその分を十分反映させていきたいと、このように考えております。

○議長

山口君。

○7番

5年、6年前の議論も一緒のような話なんですよ。こうなるだろうって言っても、わからない。ずっとわからへんねやん、それやったら。ずっとわからんから、高く取り続けますって言うてるのと一緒やん。私は無能ですって言うてるのやんか。私はちゃうわ、町はや、はっきり言えば。要するにさ、伸び率9%で見てねんで、計画のほうは。それぐらい高齢化が平群町激しいから、ほんで、ニーズも高まるって、それはそれで間違ってたんかもしれん。でも、実際に見れば、6期の最後の年と7期の最初の年ではやね、2%上がってないねん。それを見たらやで、もう後の計画、おのずからやね、何ぼでも離れていくんやから。だから、3年目は、さっき言ったように、今のままいったら、3億以上離れんのよ。もっと離れんのよ。4億以上離れんのよ。もうこうなったらさ、何のため、どんな計画立ててるのよ。それはもう、つくったコンサルが悪いのか、それを認めた町が悪いのか知らんけどやね、委員として入ってた私たちが悪いのか。私は反対しましたが、ほかの方は全員賛成でしたからね。

いや、だから、そこはね、過去のこともあるんだから、ちょっとやね、そんなに乖離、もうせえへんやんか、それ以上。これから、だから、自分、さっき、三千何万の黒字って言ったけど、それは償還金が早くわかってるからや。会計上、決算として出てくる見込みが9,000万の黒字やで、単年度実質収支が。そうでしょう。そっから五千何ぼ返さなあかんから、三千数百万の黒字を今度基金に積むという、新年度でなってるわけ。だから、3億7,000万になるっていう話やね。それはわかるんですよ。わかるんですけども、決算だけ見れば9,000万の黒字、1年目で9,000万の黒字なんて異常な話なんですよ。5,000万返すと、でも、前の年に返してるやつが2,000万か3,000万あんねん。実際は、だから、4,000万の差やから、実際、単年度実質収支を精密に見れば、3,500万じゃなくて、もう1,500万積まなあかん、5,000万ぐらいの黒字になるんですよ、厳密に言えばね。

そんな話はいいんですけど、どっちにしたってね、やっぱり払う側の立場も含めて、何ぼでも基金積み上がればええっていうわけじゃないでしょうっていう、この会計についてはね。ましてや、23%って、要するに、払った分に対

して、全部国や県や支払基金とか、きちっと来るわけじゃないですか。ほんで、1号被保険者の分だけ精算しないんや。この前でもそうやん。1億5,000万で、2億、金残したんやもん。だから、そののところに問題がある。それをね、2,000万とか3,000万残すだけで、基金全部投入して、今度の7期の計画組んでんねやったら、そこまで言わへんねん。それをやね、1億5,000万以上残す、2億近く残す計画で初めから立ててるところにね、私は不審に思ってるわけよ。もちろん計画、今後のことやから、わからんっていえばわからんけど、でも、そんなんで行政やられたら、たまらんわけよ、払うほうは。少々狂いはあったって、こんな大きく狂ったんだから、どっかで修正するっていう、そういう勇氣も持ってほしいわけよ。何でそれができへんのかなと。こっちに赤字あるから、こっちに金余ってたら、この金流用できるから、一概にせんでもいいわという、そんなことはないと思いますけどね。もしそんな気でいるなら、本当に失礼な話やと思うんで、あんまり言いたくなかったけど、ちょっとそこは考えてもらわなあかんよと。12月に出して否決されてんのに、3月に出すわけいかんから、今回、こういう結果を見ても、引き下げ議案は出してませんけどね。私は、町当局が真摯に住民の立場を考えて、住民の立場で引き下げをやっぱりどっかで早目に決断すべきやということはしっかり申し上げておきます。この件についてはもう結構です。

○議長

質疑ございませんか。

「なし」の声あり

○議長

ないようでしたら、議案第23号に対する質疑を終結します。

続きまして、議案第24号 平成31年度平群町奨学資金貸付事業特別会計予算についてに対する質疑に入ります。質疑ございませんか。

「なし」の声あり

○議長

ないようでしたら、議案第24号に対する質疑を終結します。

続きまして、議案第25号 平成31年度平群町後期高齢者医療特別会計予算についてに対する質疑に入ります。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、議案第25号に対する質疑を終結いたします。

続きまして、議案第26号 平成31年度平群町用地先行取得事業特別会計予算についてに対する質疑に入ります。山口君。

○7 番

これ、せやけど、特別会計にする理由ってあるの。要するに、庁舎用地の借入金についてだけこっちに回してんねけど、最初、この特会復活するときに説明あったんかわからんけど、もう一度説明していただけますか。

○議 長

政策推進課長。

○政策推進課長

今、山口議員の御質問にお答えさせていただきます。

この用地先行取得事業特別会計でございますが、一定の先行買収をした上で、その用地の事業化っていうのを目的とした会計でございます。今回、庁舎用地ということで、今、文化センターを建設しております用地の一角に1,500平米の将来庁舎用地ということで、文化センターの用地とは全く別の用地ということで買い求めて、今、平群町のほうを取得をしておるような状況でございます。本来でしたら、その分、額でいうたら、1億9,000万ぐらいの費用ですので、単年度でしまいができれば一番よかったですけども、今の財政状況を鑑みまして、基本的に、長期的な財政融資ということでのこの起債を、用地先行取得債ということで、庁舎用地ということで起債を起こしたというのが、なぜこうなったんだという、一つの一番近しい答えなのかなというふうに思っております。

以上です。

○議 長

ほかにございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、議案第26号に対する質疑を終結いたします。

以上で、一般会計並びに特別会計、各種事業会計の新年度予算案11件に対する質疑は終了いたしました。

お諮りします。

本案 11 件については、6 人の委員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

「異議なし」の声あり

○議 長

異議なしと認めます。よって、本案 11 件については、6 人の委員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することに決定しました。

予算審査特別委員の名簿を配付します。

名簿配付

○議 長

お諮りします。

ただいま設置されました予算審査特別委員会の委員の選任については、過般の議会運営委員会で内定しております。お手元に配付しました名簿のとおり 6 名を選任いたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

「異議なし」の声あり

○議 長

異議なしと認めます。よって、ただいま配付しました名簿のとおり決定いたしました。

なお、委員長に山口君、副委員長に井戸君をお願いしたいと思います。御異議ございませんか。

「異議なし」の声あり

○議 長

異議なしと認めます。

予算審査特別委員会は、3月6日に一般会計の審査、3月7日に特別会計、事業会計の審査を行います。御多忙のところ恐縮でございますが、予算審査特

別委員会につきましてはよろしく申し上げます。

以上で本日の日程は全部終了しました。

これをもって散会します。

(ブー)

散 会 (午後 3 時 0 5 分)